



森ノ宮医療大学新校舎・西棟が完成

森ノ宮医療大学総務室参事 西堀 文雄

去る3月11日(金)、新校舎・西棟が竣工しました。カラフルで若々しいデザイン性の高いおしゃれな建物です。

昨年の6月15日に着工し、工事に関わってくださった皆さまの尽力により約9カ月足らずという驚異的な工事期間で完成しました。

西棟の新校舎は鉄筋コンクリート6階建・白亜の校舎で(①)、1階の中央にはゆったりとしたスペースが広がり(②)、曲線階段で2階の回廊に繋がっています。また、天井部分からはガラスブロックを通して3階屋上庭園からの心地良い日差しがそそぎます(③)。また、ガラス張りの2基のエレベーターが上下し、一瞬、未来空間かと錯覚するほどです。一見、従来の大学校舎のイメージと違っているので、驚かれる方もおられるかもしれませんが、学び舎としてより実践的に、また系統的に最新の看護技術が学べるように、教室や実習室が配置されています。

6階の100人教室2室は、パーティションで仕切られており、扉を取り外すと200人教室となり、医療の基礎知識等を3学科共通で講義することや、学会等のメイン会場としての使用も可能です(④)。

5階のスタジオでは、体育館に置かれていたウェイトトレーニング機器を移設し、本格的に筋肉トレーニングができます。

4階の基礎看護学実習室は、24台の電動式ベッドを配置、ベッド間はカーテンではなくロールスクリーンで仕切られ、すっきりとした実習室となっています。さらに4台のプラズマディスプレイが実習室の両側に設置され、多人数での実習授業が可能となるように工夫されています(⑤)。また、実験室にはドラフトチャンバーが設置され、より高度な実験・研究が安全に行えます。また、3階は地域・老年看護学実習室及び成人・精神看護学実習室となっています。

ところで、西棟の特徴の1つが3階の屋上庭園(③)。天気の良い日や、気候の良い季節には、ベンチに座ってほっと一息できます。また、2階の学生ラウンジにはデザイン性の高いソファが置かれ、くつろげる空間を創出しています(⑥)。また、2階からはブリッジで「Medi-CAFÉ」の2階につながっており、雨の日でも傘をささずに行くことができます。

西棟はすでに看護学科第1期生が授業や実習で使用しています。安らぎ感の中で、未来の看護師を目指して学生の皆さんが勉学に励み、最新医療技術の学びの家、研究の家になり、明日の医療の礎の場となることを願います。